

第二部 調査によって明らかになったこと

I. これからの見とおしの立たないくらしの実態

—— くらしの基盤が不安定で、くらしを支える条件も乏しい ——

1. くらしの基盤が不安定でもろく弱い

1) 生計中心者の過半数は、無業者層である

働いていない理由は「病気のため」がもっとも多く、ついで「高齢のため雇ってもらえない」とか、「障害」などによる。

働いているのは、全体の44.4%で、男性が32.5%と、女性は11.8%という構成である(図I-1)。仕事の内訳を見ると「臨時・日雇い」と「パートタイマー」が多く、次いで「規模30人未満の事業所に雇われている」「職人」「運転手」「商業・サービス業関係に雇われている」「内職」など働いている生計中心者の8割は「不安定雇用層」である。家族労働力を主体にした「自営業層」は3.6%を占めている。

2) 働いていない場合、収入源は生活保護受給者が2割を占めている

生計中心者の主な収入源は、図I-1のとおりである。

生計中心者が働いていない場合、生活保護受給者が、20.1%を占めていることが、仮設住宅入居者の著しい特徴である。

図I-1 主な収入源

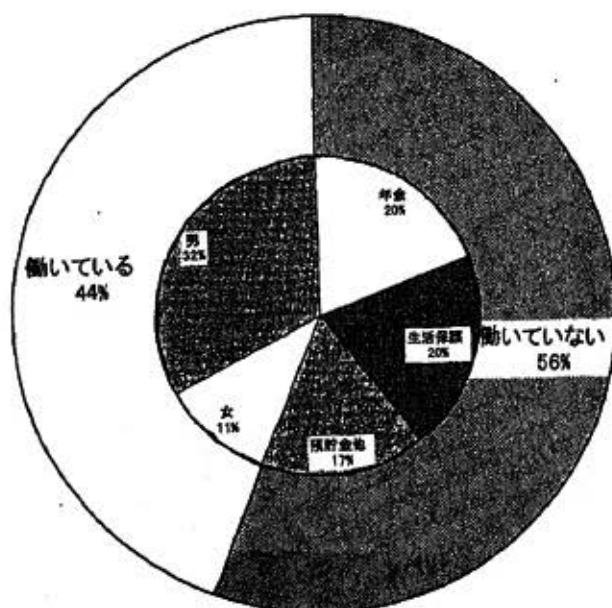


表 I-1 就労の有無・性別にみた収入源（複数回答）

収入源		総数	生計中心者の仕事による収入	その他の家族の仕事による収入	厚生年金・恩給・共済年金	国民年金・福祉年金	障害基礎年金・福祉手当	遺族扶助料	生活保護	利子・配当（地代・家賃）	預貯金のとりくずし	仕送り	生活支援資金	その他
就労の有無	性別													
合計		169	75	9	38	9	11	2	34	2	31	8	1	13
働いている	男性	55	55	6	5	5	2			1	4	1	1	
	女性	20	20		3	1	1	2	1					
働いていない	男性	56		2	17	1	5		23		12	4		8
	女性	38		1	13	2	3		10	1	15	3		5

3) 「一人ぐらし」が約7割を占めている。（図 I-2）

くらしの基盤の不安定性や弱さは、家族構成にあらわれている。一人ぐらしは、男性が37.9%、女性が30.2%を占めている。とくに、生計中心者が女性の場合、一人ぐらしが87.9%という高い割合を占めている。それに対して、生計中心者が男性の場合は、「夫婦のみ」が23.4%、「夫婦と未婚の子」が9.9%をしめていることが特徴的である（表 I-2）。

図 I-2 家族構成

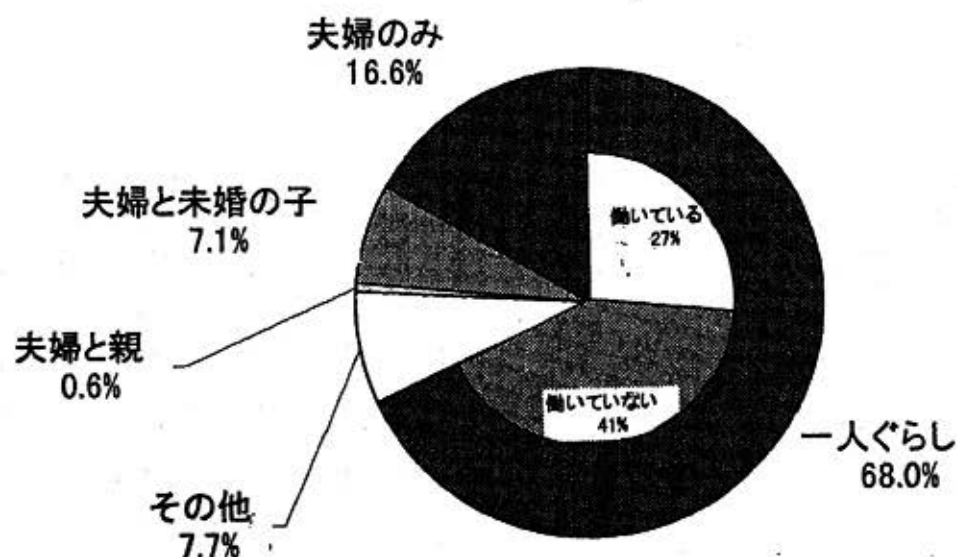


表 I-2 就労の有無・性別にみた家族構成

家族構成		総数	一人暮らし	夫婦のみ	子ども 夫婦と夫婦の	三世代	夫婦と親	その他
就労の有無	性別							
合計		100.0 169	68.6 115	16.6 28	7.1 12		0.6 1	7.7 13
働いている	男性	100.0 55	49.1 27	21.8 12	16.4 9		1.8 1	10.9 6
	女性	100.0 20	90.0 18		5.0 1			5.0 1
働いていない	男性	100.0 56	66.1 37	25.0 14	3.6 2			5.4 3
	女性	100.0 98	86.8 83	5.3 2				7.9 3

2. 仮設住宅入居者の住宅問題

生計中心者のなかには、震災のため「勤務先が倒産あるいは人員整理」とか「それまでやっていた事業ができなくなった」ので現在働いていない人もいる。しかし、多くは、震災前から病気や高齢、障害などのため「無業者層」あるいは働いていても「不安定」な仕事についていたのである。

1) 長い間住んでいた「長屋・文化住宅」や「民間アパート」「民間借家」など、ほとんど全壊した

震災時に住んでいた住宅は、家賃は安いが老朽化し居住の安定性の乏しい木造の「長屋・文化住宅」(40.8%)、「民間アパート」(18.3%)、「民間借家」(13.6%)が多かった(表 I-3)のである。

居住期間も「20年以上」がもっとも多く、ついで「10～19年」21.4%、「5～9年」16.7%、「親の代」14.3%を含めると約8割の世帯が震災時の住宅(地域)に5年以上住んでいたのである(表 I-4)。

2) 仮設住宅に入居するまで「避難所」にいた人たちが63%を占めている。

現在の仮設住宅に入居するまでの避難先としては、「半壊した家にしばらく住んでいた」という世帯が13.0%(大部分は、一人ぐらしの男性と、家族と一緒に暮らしていた人)あるが、ほとんど何も持たずに「避難所」に来た人たちがもっとも多く62.7%を占めている。

ついで、半数近くが「親戚せき」や「子ども」「きょうだい」など身内のところに身を寄せ(47.9%)、さらに「避難所」を経てきた人たちや世帯である。(表 I-5)

表 I - 3 就労の有無・性別にみた住宅の所有形態

住宅の所有形態		総数	一戸建ての持ち家 (自分の土地)	一戸建ての持ち家 (借地)	分譲マンション・共同住宅	民間借家	賃貸マンション	民間アパート	賃貸の長屋・文化住宅	社宅・寮	同居	間借り	その他
就労の有無	性別												
合計		100.0 169	10.1 17	5.3 9	1.2 2	13.6 23	4.7 8	18.3 31	40.8 69	2.4 4	0.6 1	1.2 2	1.8 3
働いている	男性	100.0 55	10.9 6	3.6 2	1.8 1	14.5 8	3.6 2	18.2 10	38.2 21	1.8 1		1.8 1	5.5 3
	女性	100.0 20	15.0 3			10.0 2	5.0 1	26.0 5	46.0 9				
働いていない	男性	100.0 54	3.6 2	1.8 1		12.5 7	5.4 3	23.2 13	46.4 26	5.4 3	1.8 1		
	女性	100.0 38	15.8 6	15.8 6	2.6 1	15.8 6	5.3 2	7.9 3	34.2 13			2.6 1	

表 I - 4 就労の有無・性別にみた居住期間

居住期間		回答者数	続 (あるいはその前) の代から	現在の世帯主の代から					
就労の有無	性別			3 年未満	3 ～ 4年	5 ～ 9年	10 ～ 14年	15 ～ 19年	20 年以上
合計		100.0 168	11.3 24	11.9 20	10.7 18	16.7 28	18.1 22	8.3 14	25.0 42
働いている	男性	100.0 55	18.2 10	7.3 4	18.2 10	14.5 8	14.5 8	3.6 2	23.6 13
	女性	100.0 20	20.0 4	10.0 2	6.0 1	16.0 3	15.0 3	10.0 2	25.0 5
働いていない	男性	100.0 56	7.1 4	16.1 9	7.1 4	23.2 13	17.9 10	12.5 7	16.1 9
	女性	100.0 37	16.2 6	13.5 6	8.1 3	10.8 4	2.7 1	8.1 3	40.6 16

表 I-5 就労の有無・性別にみた仮設住宅入居までの避難先（複数回答）

仮設住宅入居までの避難先		総数	避難所	子どものところ	きょうだいのところ	半壊した家になしばら	会社の社宅・寮	病院	親戚のところ	その他	車々とした
就労の有無	性別										
合計		169	62.7	14.2	7.7	13.0	4.7	4.1	16.0	24.9	2.4
			106	24	13	22	8	7	27	42	4
働いている	男性	55	65.5	9.1	7.3	14.5	7.3	1.8	14.5	34.5	1.8
	女性	20	55.0	30.0	10.0	10.0	10.0	5.0	20.0	45.0	5.0
			11	6	2	2	2	1	4	9	1
働いていない	男性	56	69.6	5.4	3.6	16.1	1.8	3.6	17.9	19.6	
	女性	38	52.6	26.3	13.2	7.9	2.6	7.9	13.2	7.9	5.3
			20	10	5	3	1	3	5	3	2

表 I-6 就労の有無・性別にみた住宅についての今後の希望（複数回答）

住宅についての今後の希望		総数	震災前に住んでいた地域に	近くに住みたい人びとと近	親しく住みたい人びとと一	親しく住みたい人びとと一	買いたい物に便利などところに住	通院に便利な所に住みたい	通勤に便利な所に住みたい	家賃の安いところを希望し	公営住宅への入居を希望し	民間の借家希望し、アパートへの	住宅ローンの金利補助をし	住宅についてはあきらめて	ここですつとくらしたい	その他
就労の有無	性別															
合計		169	43.2	20.1	5.9	12.4	17.2	24.3	51.5	82.8	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	16.6
			73	34	10	21	25	41	87	140	4	4	4	4	4	28
働いている	男性	55	56.4	23.6	5.5	10.9	14.5	50.9	65.5	70.9	1.8	7.3	3.6	1.8	1	12
	女性	20	35.0	5.0	5.0	15.0	15.0	30.0	45.0	85.0						25.0
			7	1	1	3	3	6	9	17						5
働いていない	男性	56	41.1	21.4	5.4	7.1	23.2	10.7	46.4	89.3	1.8		3.6	3.6	3.9	
	女性	38	31.6	21.1	7.9	21.1	13.2	2.6	42.1	89.5	5.3			2.6	15.8	
			12	8	3	8	5	1	16	34	2					6

3) 画一的な住宅（建物）の供給だけでは、問題の解決にはならない。

今後の住宅に対する希望としては、全体として「公営住宅への入居」が82.8%と圧倒的に多い。同時に、「家賃の安いところ」51.5%、「震災前に住んでいた地域に住みたい」43.2%、生計中心者が働いている場合は「通勤に便利なところに住みたい」18.7%など、入居者がかかえている現実の切実な課題や住まいの要求に対して、住宅（建物）を供給するだけでは対応できないのである（表1-6）。

住まいは、人たるに値する暮らしと生命の安全を維持するために欠くことのできない基本的な暮らしの基盤だからである。そして、住宅建設は、つねに、住民自治の発展を基盤にして誰もが（等しく）健康で人間らしく安心して暮らせるまちづくりに位置づけてすすめていくことが必要不可欠なのである。とくに、復興をめざすまちづくりでは、福祉の視点を、福祉には人権の視点をすえて取り組むことが大切なのである。

3. くらしを支える条件の乏しさ

一般的にも、暮らしの基盤が不安定でもろく弱い階層ほど、人間らしく生きるために無くではない、くらしの場における日常的なヨコのつながりや結びつき、つまりくらしを支える条件が乏しい。仮設住宅入居者の場合は、不安定層や無業者層が多いのでくらしの基盤がより一層乏しいのである。

1) くらしや医療、福祉のことで相談する相手は「身内」が多い

全体として、「親・きょうだい・子ども」がもっとも多く54.3%を占め、ついで「知人・友人」26.4%、「近所の人」19.3%、「自治会の役員」16.4%、「福祉事務所の職員」16.4%、「職場の同僚」14.3%、「親せき」13.6%、「かかりつけの医者」12.1%、「ふれあいセンターの役員」11.4%、「ボランティア」10.0%などとなっている（表1-7）。

生計中心者が働いているか否かにより、また男性と女性とでは著しい違いがある。働いている場合や働いていない女性の場合は、「身近かに相談できる人がある」という割合が高い。とくに、女性の場合は、「親・きょうだい・子ども」と「親せき」の割合が高く、「知人・友人」や「近所の人」「雇主や職場の上司」「福祉事務所の職員」など第三者にまで範囲が広がりをもっていることが著しい特徴である。それだけ、くらしを支える条件が強いのである。

それに対して、働いていない男性の場合は、「相談できる人がいない」という場合が35.7%を占めているのである。そして、相談できる相手も「親・きょうだい・子ども」は38.9%、「知人・友人」16.7%と平均値を大きく下まわっているのである。病気や生活保護を受給している人が多いこともあって、「福祉事務所の職員」27.8%、「かかりつけの医者」25.0%、「近所の人」22.2%、「ボランティア」19.4%、「ふれあいセンターの役員」16.7%、「宗教団体の人」11.1%などである。

2) 親しくしている人は、同じ「仮設住宅の人」が約6割を占めている。

親しくしている人は、全体として同じ「仮設住宅の人」がもっとも多く56.8%を占めている（表1-8）。ついで「身内」27.3%、「前に住んでいた地域の人」19.7

表 I-7 就労の有無・性別にみたくらしや医療・福祉のことで相談する相手（複数回答）

くらしや医療・福祉のことで相談する相手		総数	身近に相談できる人がいない	身近に相談できる人がいる	親・きょうだい・子ども	親戚	知人・友人	近所の人	自治会の役員	民生委員	園いしや職場の上司	職場の同僚	福祉事業所の職員	市役所・区役所の職員	生活支援アドバイザー	近所の職員	社会福祉施設の職員	かかりつけ医	病院の医療用談室の職員	ホームヘルパー	保健婦	食育婦	加入している団体の人	労働組合	政党の議員	宗教団体の人	ふれあいセンターの職員	ボランティア	その他
就労の有無	性別																												
		166.9	17.2	82.8	54.3	13.6	26.4	19.3	15.4	2.1	5.7	14.3	15.4	7.9	2.1	2.3		12.1	1.4	2.1	5.0	2.1		1.1		1.3	11.4	10.0	7.1
働いている	男性	106.8	5.5	84.3	50.0	13.5	26.9	17.3	25.0	1.9	5.8	25.0	3.8	5.8		3.8		5.8			3.8			1.9		1.9	11.5	7.7	9.6
	女性	100.0	10.0	90.0	72.2	16.7	27.8	11.1	16.7		22.2	5.6	16.7	11.1	5.6			16.7			5.6					5.6	11.1		
働いていない	男性	100.0	35.7	64.3	38.9	8.3	16.7	22.2	8.3	5.6	2.8	5.6	27.6	5.6	5.6	2.8		25.0	5.6	5.6	8.3	8.3		2.8		11.1	16.7	19.4	11.1
	女性	100.0	10.5	89.5	67.6	17.6	25.3	23.5	11.8			11.8	23.5	11.8		2.9		5.9		2.9	2.9						5.9	8.8	2.9

表 I-8 就労の有無・性別にみた親しくしている人（複数回答）

親しくしている人		総数	いない	いる	仮設住宅の人	身内	前に住んでいた地域の人	職場の人	友人	その他
就労の有無	性別									
合計		100.0 169	21.9 37	78.1 132	56.8 75	27.3 36	19.7 26	15.9 21	9.1 12	4.5 6
働いている	男性	100.0 55	18.2 10	81.8 45	44.4 20	22.2 10	28.0 13	28.9 13	8.9 4	
	女性	100.0 20	15.0 3	85.0 17	47.1 8	35.3 6	11.8 2	35.3 6	11.8 2	5.9 1
働いていない	男性	100.0 56	30.4 17	69.6 39	71.8 28	23.1 9	12.8 5	2.6 1	7.7 3	10.3 4
	女性	100.0 38	18.4 7	81.6 31	61.3 19	35.5 11	19.4 6	3.2 1	9.7 3	3.2 1

％、「職場の人」15.9％、「友人」9.1％などとなっている（表 I-8）。

生計中心者が女性や働いている男性の場合は、親しくしている人が「いる」という割合が高いが、働いていない男性の場合、3 割が「いない」ということであつた。

就業の有無別にみると、働いていない場合は同じ「仮設の人」、働いている場合には「職場の人」の割合が著しく高い。それに加えて、女性の場合は「身内」、働いている男性の場合、配偶者や子ども、親など家族と同居していることもあつて、「前に住んでいた地域の人」がそれぞれ相対的に高率を占めていることも著しい特徴である。

4. 仮設住宅入居者のくらしの中味

仮設住宅入居者のくらしの中味は、そのくらしを支える条件によって規定され、①家計支出、②食生活、③楽しみやくらしのところに鋭く現れている。

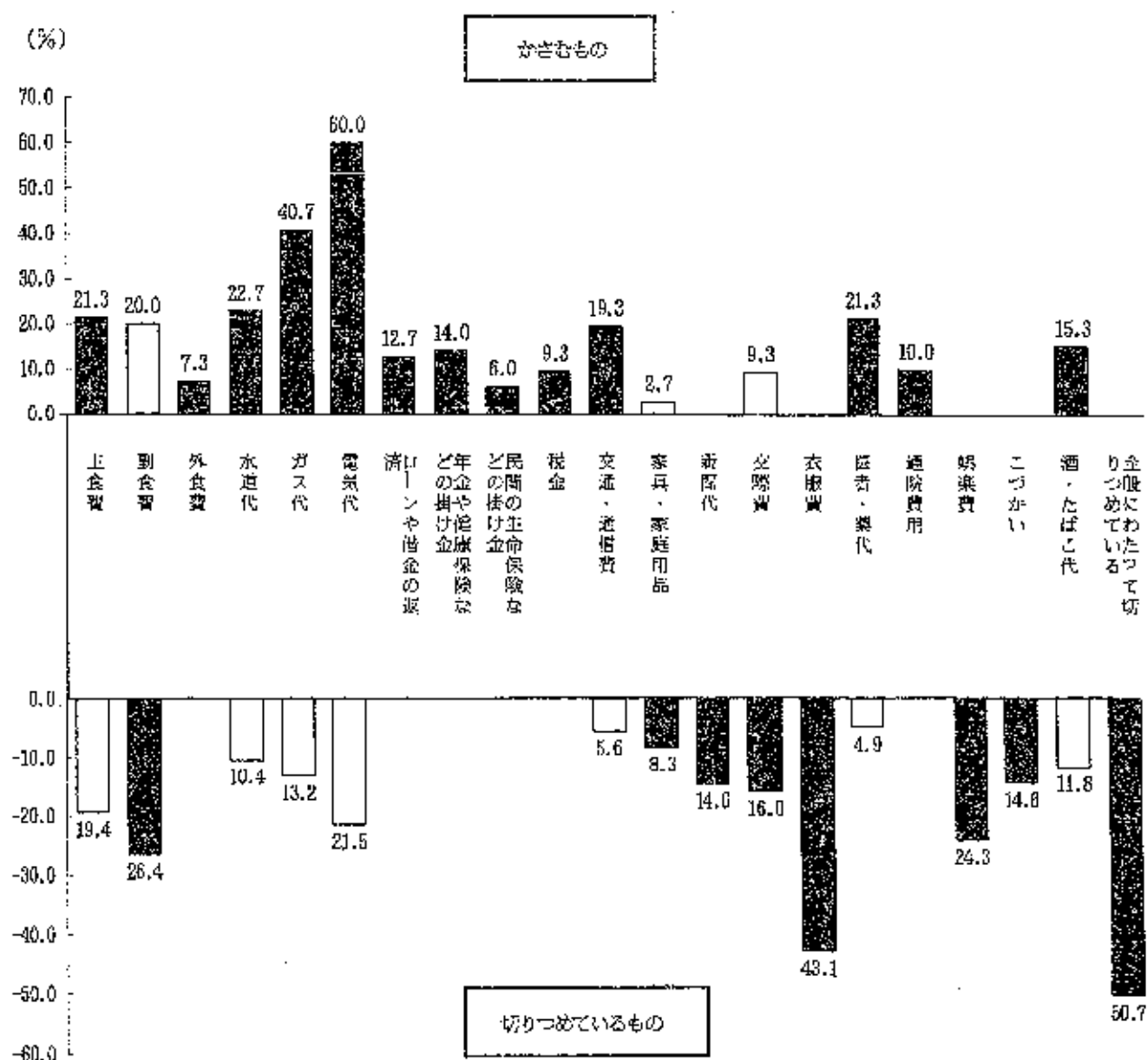
1) 家計支出

ここでは、家計簿式に、支出した品名やその数量、金額を調べる方法ではなく、生活問題の構造を明らかにするため支出のなかで「かさむもの」や「切りつめているもの」の有無とその費目をききとり、結果を集計した。

家計支出も、生計中心者が働いているか否かにより、また収入源により、一人ぐらしでも男性か女性か、家族構成などによってそれぞれ著しい違いがある。

一見して誰でもわかるように（図 I-3）（、一般世帯の家計支出の構造とは著しく異なっており、「電気代」「ガス代」「水道代」「医者・薬代」「主食費」「交通・通信費」「酒・たばこ代」「年金や健康保険など（社会保険）の保険料」「借金やローンの返済」などの支出がかさむ割合が著しく高い。そして、「衣服費」をはじめ「副食費」「娯楽費」

図I-3 家計支出のなかでかさむものと切りつめているもの（複数回答）



「主食費」「交際費」「新聞代」「こづかい」など「全般的にわたって」切りつめているところに、ふだんのくらしの苦しさ、困難さが現れている。

家計支出の構造からみると、人間は、まわりの人たちとかかわりをもつことによって人間らしく暮らすことができる、社会的・文化的な生きものなので、生活が苦しくなるにつれて、娯楽費→副食費→交際費→主食費の順に切り詰める割合が高くなる傾向がある。娯楽費や交際費を切りつめることは社会的な孤立に通じ、食費を切りつめるようになると栄養失調や餓死への行進である。

2) 食生活

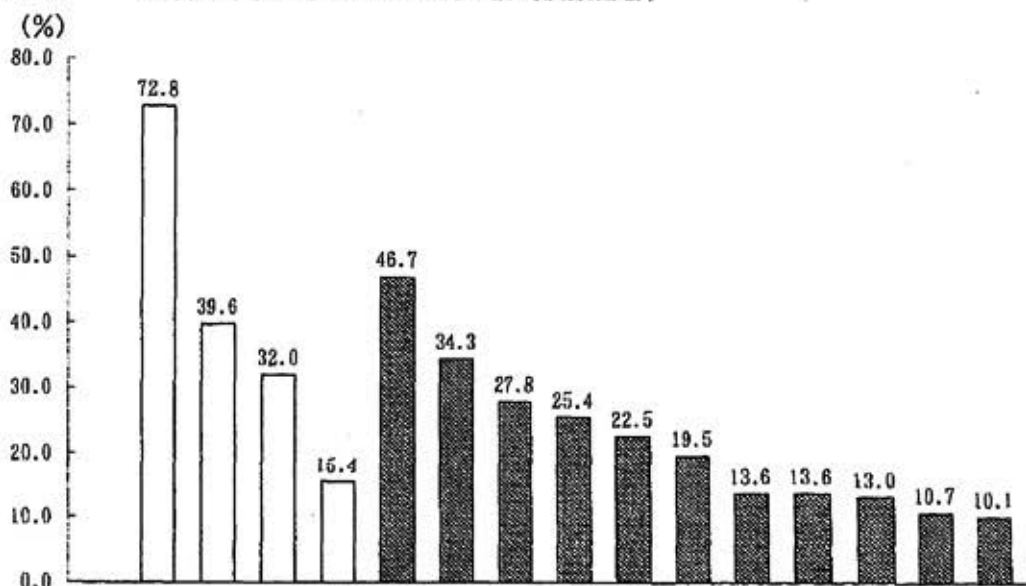
人間の「いのちのもと」である食生活は、基本的に、くらしの基盤である生計中心者の就業の有無と労働（通勤を含む）の内容や条件、所得などによって規定されている。さらに仮

設住宅入居者の場合は、一人ぐらしが多いので、男性と女性で著しい違いがある（図Ⅰ－４）。

相対的に、男性の場合の食生活は、就業や労働の条件が不安定でヨコのつながりも希薄であるため、「自分で作って食べている」とか「毎日、朝はしっかり食べている」「野菜や芋類をよく食べている」割合が低いだけでなく、様々な問題が現れていることに注目する必要がある。

個人的に気をつけたり、努力すれば解決できるような問題としてではなく、会食会や共同食堂、料理教室、共同炊事などの場と機会を設置するなど、集団的・社会的な対応を迫られているのちそのものにかかわる課題だからである。

図Ⅰ－４ 就労の有無・性別にみた食生活（複数回答）



就労の有無		食生活	総数	家（自分）で作って食べている	毎日、朝はしっかり食べている	野菜や芋類をよく食べている	米や穀物類をよく食べている	一人で食えることが多い	バランスのよい食事が摂れていない	あまり噛まずに（七回くらいで）食べている	できあいやインスタント食品が多い	朝食を抜くことがある	外食が多い	毎日、酒を二合（ビール大瓶二本以上）飲んでいる	食事がおいしくない	好き嫌いがある	魚より肉や油で炒めたものを食べる	パンやめん類を食べることが多い
性別																		
合計			169	123	67	54	26	79	58	47	43	38	33	23	23	22	18	17
働いている	男性		55	30	19	16	9	15	25	17	20	17	18	15	3	11	10	7
	女性		20	15	10	7	6	13	9	4	3	4	5		3	4	2	2
働いていない	男性		56	40	18	16	6	26	13	12	15	11	9	7	9	4	3	4
	女性		38	32	20	15	5	25	11	14	5	6	1	1	8	3	3	4

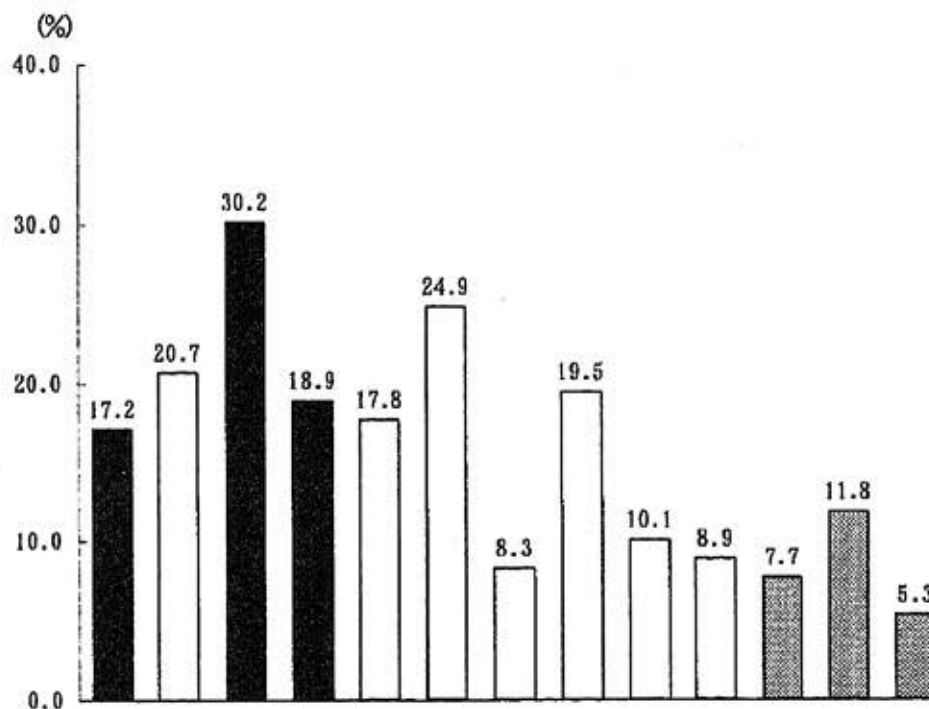
*表は就労の有無・性別、グラフは合計数によるパーセント。

3) 楽しみやくらしの拠りどころ

全体として、もっとも多いのが「近所の人や友人・知人との話し合い」、ついで「テレビをみること」「外出・散歩をすること」「趣味」「家族や親せきとの語らいや行き来」「カラオケ」「しごと」などとなっている(図I-5)。「テレビをみること」を除くと、いずれも日常的なヨコのつながりをもっている女性の場合に相対的に高い割合を占めていることが特徴的である。

「とくにない」11.8%(働いていない男性の場合は21.4%)とか「アルコール」21.4%、「考えないことにしている」というのは、働いている男性の場合に高率を示している。

図 I-5 就労の有無・性別にみた楽しみや今のくらしの拠り所(複数回答)



楽しみや今のくらしの拠り所		総数	しごと	外出・散歩をすること	近所の人や友人・知人との話し合い	家族や親戚との語らいや行き来	カラオケ	テレビをみること	ラジオをきくこと	趣味	新聞や雑誌を読むこと	読書	アルコール	とくにない	考えないことにしている
就労の有無															
性別															
合計		169	29	35	51	32	30	42	14	33	17	15	13	20	9
働いている	男性	55	16	9	15	10	9	14	3	12	9	9	7	4	6
	女性	20	12	5	6	6	5	5	2	4	1	2			
働いていない	男性	56	1	10	14	8	9	16	5	8	4	3	5	12	2
	女性	38		11	16	8	7	7	4	9	3	1	1	4	1

5. 生計中心者の健康状態と医療保障

1) 現在、生計中心者の62%が「病気で医者に診てもらっている」

現在の生計中心者の健康状態は、全体として、「病気で医者に診てもらっている」割合が62.1%を占めている。「どこも悪くない」というのは、わずか2.4%にすぎない。そして、「日頃健康について気になっているところがある」が医者に診てもらっていない人が35.5%を占めているのである。

日頃健康のことで気になっていることを、身体的な疲労・症状と精神的なストレスがらみの症状に分けてまとめたのが図I-6である。

2) 精神的なストレスがらみの症状が多い(図I-6、表I-9)

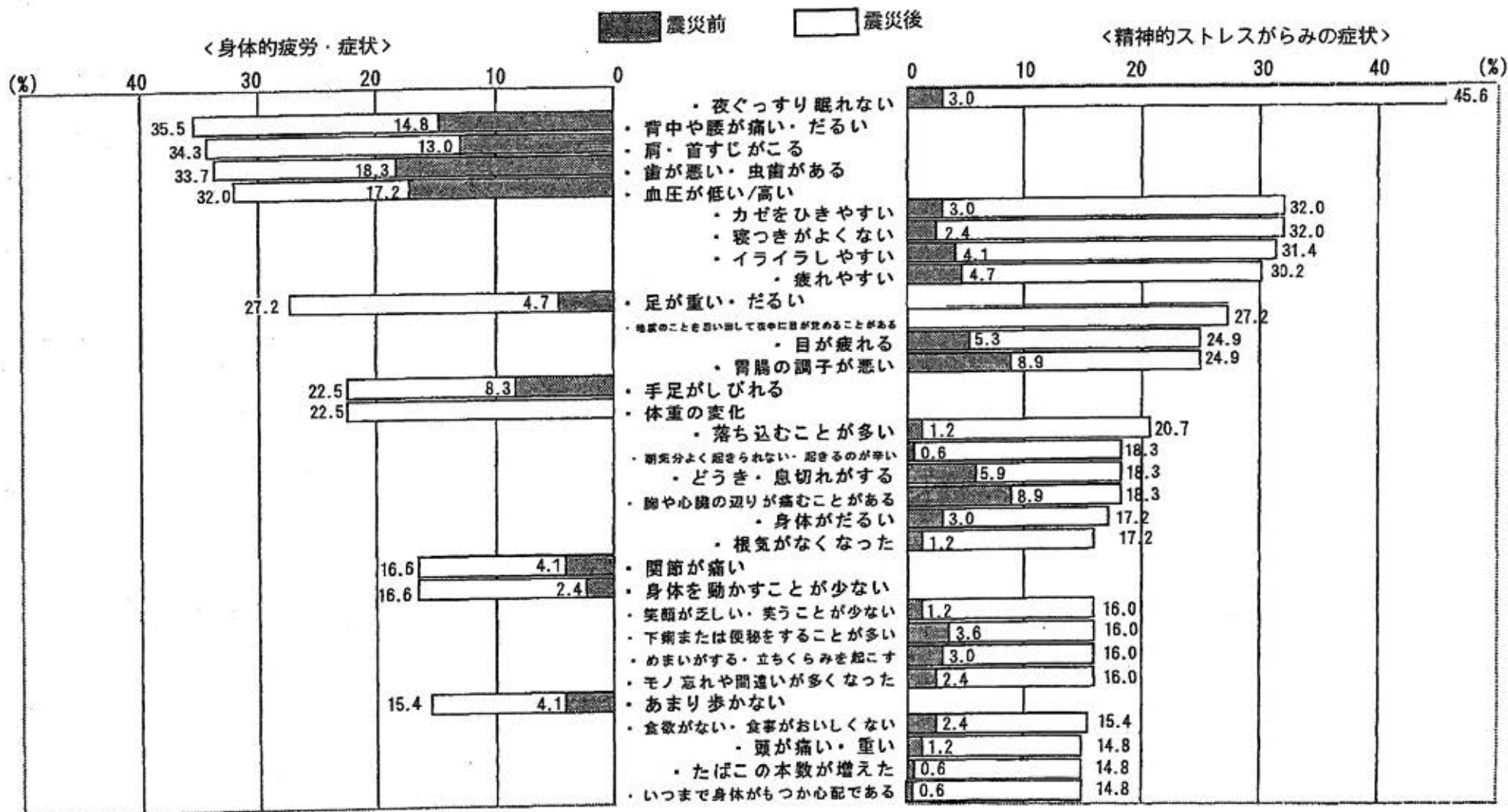
震災前から「気になっていた」症状は、「背中や腰が痛い・だるい」「肩・首すじがこる」「歯が悪い・虫歯がある」「血圧が高い・低い」など身体的な疲労・症状であり、現在もその割合が高く上位を占めている。

図I-6から明らかなように、現在日頃の健康のことで気になっていることは、精神的なストレスがらみの症状が多いことが特徴である。しかもそのほとんどが、震災前にはなかった症状あるいは少なかった症状である。

たとえば、

- ・ 夜ぐっすり眠れない
- ・ 寝つきがよくない
- ・ 風邪をひきやすい
- ・ イライラしやすい
- ・ 疲れやすい
- ・ 地震のことを思い出して、夜中に目がさめることがある
- ・ 落ち込むことがある
- ・ 朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい
- ・ からだがだるい
- ・ 根気がなくなった
- ・ 笑顔が乏しい、笑うことが少ない
- ・ 下痢または便秘をすることが多い
- ・ めまいがする、立ちくらみをおこす
- ・ モノ忘れや間違いが多くなった
- ・ 食欲がない、食事がおいしくない
- ・ 頭が重い、痛い
- ・ たばこの本数がふえた
- ・ いつまで身体がもつか心配である
- ・ 人と話すのがおっくうになった
- ・ 気力がなくなった
- ・ 身体が冷える
- ・ 目のまわりがピクピクけいれんする
- ・ 耳がきこえにくい
- ・ 食後胃がもたれる

図1-6 生計中心者が日頃自分の健康のことで気になっていること



[illegible]

のどが乾く、など震災後になって「気になっている」症状がいろいろと多いのである。

なお、震災前から気になっていた精神的なストレスがらみの症状は、一般的にも見られるような「目が疲れる」「胃腸の調子が悪い」「胸や心臓のあたりが痛むことがある」「どうき・息切れがする」などである。

このような精神的ストレスがらみの症状が蓄積すると、慢性化し「足が重い・だるい」「手足がしびれる」「体重が減った・増えた」「関節が痛い」「身体を動かすことが少ない」「あまり歩かない」「腕が痛い」などの身体的な疲労や症状に現れ促進しているのである。そして、身体的なものが、精神的なストレスや症状をさらに重くしているのである(図I-6)。

3) 日常的なヨコのつながりが乏しい人ほど、精神的なストレスがらみの症状を訴えている割合が高く、健康状態がよくない

とくに、親しくしている人が「仮設住宅の人」に限られている場合には精神的なストレスがらみの症状が高率を示し、親しくしている人が「いない」場合は、精神的にも身体的にも健康状態がよくない(表I-10)。

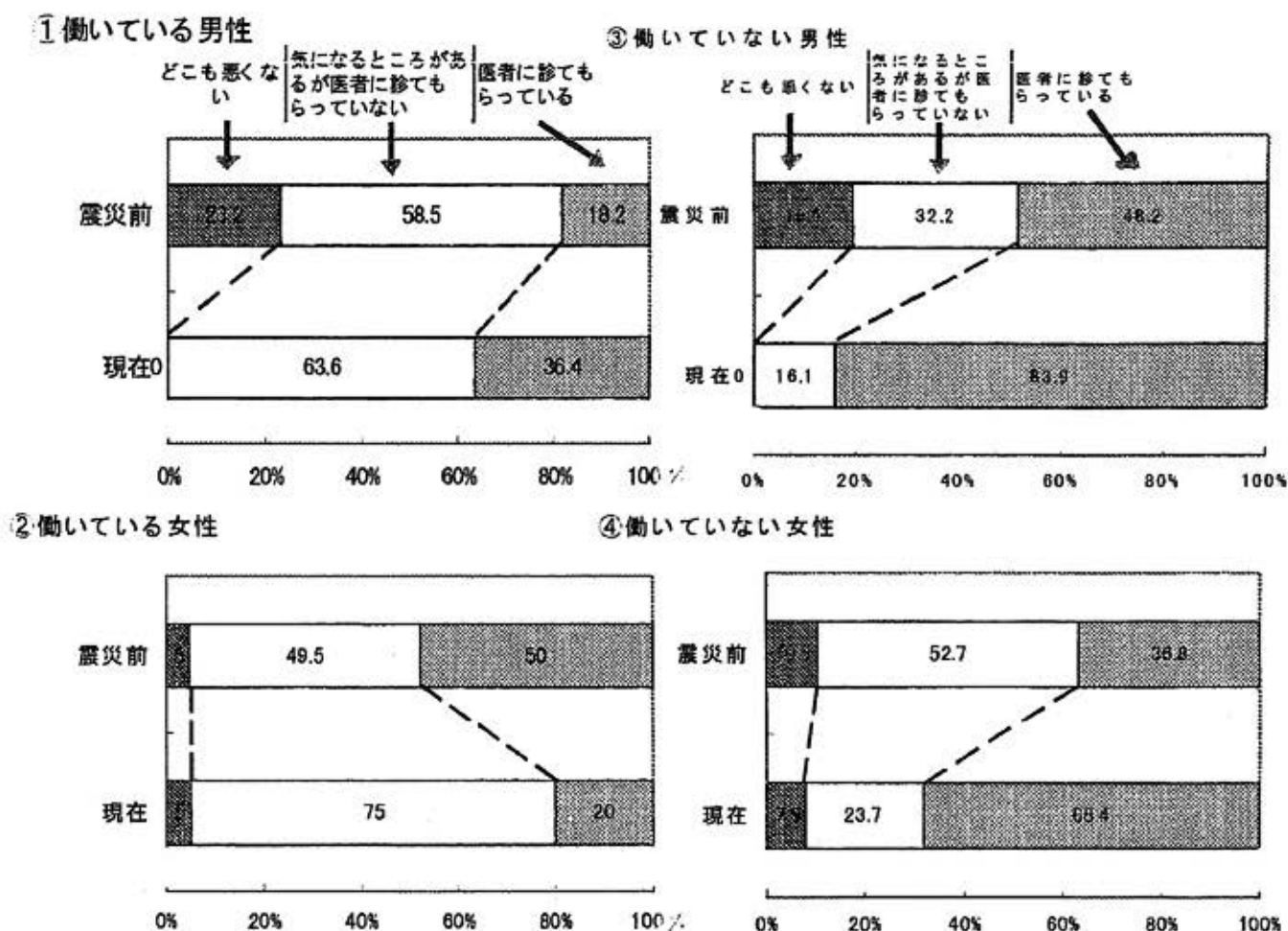
それに対して、「身内(や「第三者」の場合には、「風邪をひきやすい」とか「根気がなくなった」という割合は高いが、他は全般にわたっていずれの割合も低い。

表I-10 親しくしている人(類型)別にみた生計中心者の健康状態、震災前と現在(複数回答)

[illegible]

4) 健康状態は、震災後一層悪くなったが、就業の有無や男性と女性によって著しい違いがある(図I-7)

図I-7 就業の有無別・性別にみた震災前と現在の健康状態



生計中心者が働いている場合、男性はすでに震災前の雇用・労働条件が不安定・不規則であり、家族もいるので「気になっているところがあっても」「医者に診てもらおうことなく」無理して働き続けている場合が多い。その家族も、配偶者の46.4%、親17.9%、子ども10.7%は「からだの具合がよくない」のである(表I-11)。

それに対して、女性は、すでに健康状態が悪くなっていることもあって「医者に診てもらっている」割合が相対的に高いのである。生計中心者が働いていない場合、現在、男性は84%、女性は68%が「医者に診てもらっている」のである。なお、一緒に暮らしている家族がいる場合、男性は配偶者の約6割は「からだの具合がよくない」のである。

震災前と現在との変化をみると、図I-7に示すとおりである。

働いている場合、男性は「どこも悪くない」というのは23.2%からゼロになり、「医者に診てもらっている」割合が20%から50%に増えている。

それに対して、働いていない場合には、「医者に診てもらっている」割合が震災前も高かったが、男性は48.2から83.9%へに、女性は36.8から68.4%になっているのである。

表 I-11 就労の有無・性別にみた家族の中でからだの具合のよくない人（複数回答）

家族の中でからだの具合が よくない人		該当 者数	配偶 者	親	子 ども	そ の 他	い な い
就労の有無	性別						
合計		54	46.3 25	31.1 6	7.4 4	3.7 2	33.3 18
働いている	男性	28	46.4 13	17.9 5	10.7 3	3.6 1	25.0 7
	女性	2			50.0 1		50.0 1
働いていない	男性	19	57.9 11	5.3 1		5.3 1	31.6 6
	女性	5	20.0 1				80.0 4

5) 現在、生活保護を受給している人たちのほとんどが、「病気で医者に診てもらっている」

働いていない人たちの場合、震災後、一層健康状態が悪化した（表 I-12）。

とくに、生活保護を受給している人たちは、すでに震災前から「医者に診てもらっていた」人たちが62%を占めていたのである。それが、現在は97%に増えているのである。

日頃、自分の健康について気になっていることは、

- ・夜ぐっすり眠れない
- ・寝つきがよくない
- ・歯が悪い、虫歯がある
- ・手足がしびれる
- ・目が疲れる
- ・身体を動かすことが少ない
- ・胃腸の調子が悪い
- ・根気がなくなった
- ・胸や心臓のあたりが痛むことがある
- ・どうき、息切れがする
- ・あまり歩かない
- ・食事がおいしくない
- ・人と話すのがおっくうになった
- ・イライラしやすい
- ・寝たり起きたりの状態

など、精神的なストレスがらみの症状をあげている割合が著しく高いことが特徴的である。

さらに、預貯金を取りくずして生活している人（女性に多い）の場合は、「医者に診てもらっている」のは平均値並みである。しかし、「健康について気になっていること」としては、

- ・夜ぐっすり眠れない

表1-12 主な収入源(類型)別にみた生計中心者の健康状態、震災前と現在(複数回答)

生計中心者の健康状態	被災前・現在	被災前・現在（数値回答）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		総数	肩・首筋がこる	背中や腰が痛い・だるい	足が重い・だるい	関節が痛い	手足がしびれる	腕が痛い	身体が冷える	足や顔がむくむことがある	あまり歩かない	身体がだるい	寝れやすい	身体を動かすことが少ない	寝つきがよくない	夜、ぐっすり眠れない	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする	胸や心臓のあたりが締めくることがある	めまいがする、たちくらみをおこす	貧血気味	血圧が高い／低い	のどが乾く	身体がかゆい	傷が悪い・虫歯がある	歯後胃がもたれる	食欲がない・食事がおいしくくない	下痢または便秘をすることが多い	内臓の調子が悪い	風邪をひきやすい	根気がなくなった	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	落ち込むことが多い	イライラしやすい	目のまわりがヒクヒク腫れる	目が疲れる	腕が痛い・重い	朝、気分よく起きられない、起きるのがつらい	腕が痛い・重い	目が疲れる	目のまわりがヒクヒク腫れる	イライラしやすい	落ち込むことが多い	笑顔が乏しい、笑うことが少ない	根気がなくなった	風邪をひきやすい	内臓の調子が悪い	下痢または便秘をすることが多い	食欲がない・食事がおいしくくない	歯後胃がもたれる	傷が悪い・虫歯がある	身体がかゆい	血圧が高い／低い	血圧が安定しない	どうき、息切れがする

表I-13 主な収入源(類型)別にみた家計支出のなかで節約したり、切りつめている費目(複数回答)

切りつめている 費目 主な収入源	総 数	と く に ない	あ る	全 般 に お い た つ て 切 り	主 食 費	副 食 費	水 道 代	ガ ス 代	電 気 代	家 具 ・ 家 庭 用 品	衣 服 費	こ づ か い	酒 ・ た ば こ 代	娯 楽 費	交 際 費	貯 金	医 生 ・ 薬 代	交 通 ・ 通 信 費	娯 楽 費 ・ 車 の 保 持 費	新 聞 代	そ の 他
合計	100.0 169	14.8 25	85.2 144	50.7 73	19.4 28	26.4 38	10.4 15	13.2 19	21.5 31	8.3 12	43.1 62	14.6 21	11.8 17	24.3 35	16.0 23	8.3 12	4.9 7	5.6 8	1.4 2	14.6 21	2.8 4
仕事による収入	100.0 74	12.2 9	87.8 65	41.5 27	16.9 11	21.5 14	13.8 9	13.8 9	26.2 17	7.7 5	44.6 29	13.8 9	13.8 9	29.2 19	18.5 12	12.3 8	6.2 4	6.2 4	3.1 2	16.9 11	3.1 2
年金	100.0 33	18.2 6	81.8 27	51.9 14	22.2 6	37.0 10	7.4 2	7.4 2	7.4 2		48.1 13	18.5 5	7.4 2	40.7 11	14.8 4	7.4 2	3.7 1	3.7 1		7.4 2	3.7 1
生活保護	100.0 34	17.6 6	82.4 28	53.6 15	14.3 4	21.4 6	3.6 1	10.7 3	28.6 8	14.3 4	39.3 11	7.1 2	14.3 4		10.7 3	7.1 2		7.1 2		14.3 4	3.6 1
預貯金その他	100.0 28	14.3 4	85.7 24	70.8 17	29.2 7	33.3 8	12.5 3	20.8 5	16.7 4	12.5 3	37.5 9	20.8 5	8.3 2	20.8 5	16.7 4		8.3 2	4.2 1		16.7 4	

- ・歯が悪い、虫歯がある
- ・背中や腰が痛い
- ・身体がだるい
- ・落ちこむことがある
- ・朝、気分よく起きられない
- ・体重が減った
- ・気力がなくなった
- ・たばこの本数が増えた
- ・いつまで身体がもつか心配である

など震災以降におけるさまざまな困難と不安や切りつめた生活が続くなかで、震災前にはなかったストレスがたまり、身体的にも精神的にも慢性的な疲労状態にあることを示しているのである(表I-13)。

- 6) 「55～59才」の年齢層の生計中心者の健康状態がよくない。しかし、受診率は男性と女性で著しい違いがある

性別・年齢階層別に生計中心者が現在健康について気になっている症状をみると(表I-14)、男性の場合、「イライラしやすい」「胃腸の調子が悪い」「食欲がない・食事がおいしくない」など、50～54才の年齢層では「歯が悪い・虫歯がある」「地震のことを思い出して、夜中に目がさめることがある」「血圧が高い・低い」「めまいがする・立ちくらみを起こす」「たばこの本数が増えた」「胸や心臓のあたりが痛むことがある」「身体を動かすことが少ない」「笑顔が乏しい・笑うことが少ない」などの割合が著しく高いが、他の症状は全般的に平均値を下まわっている。

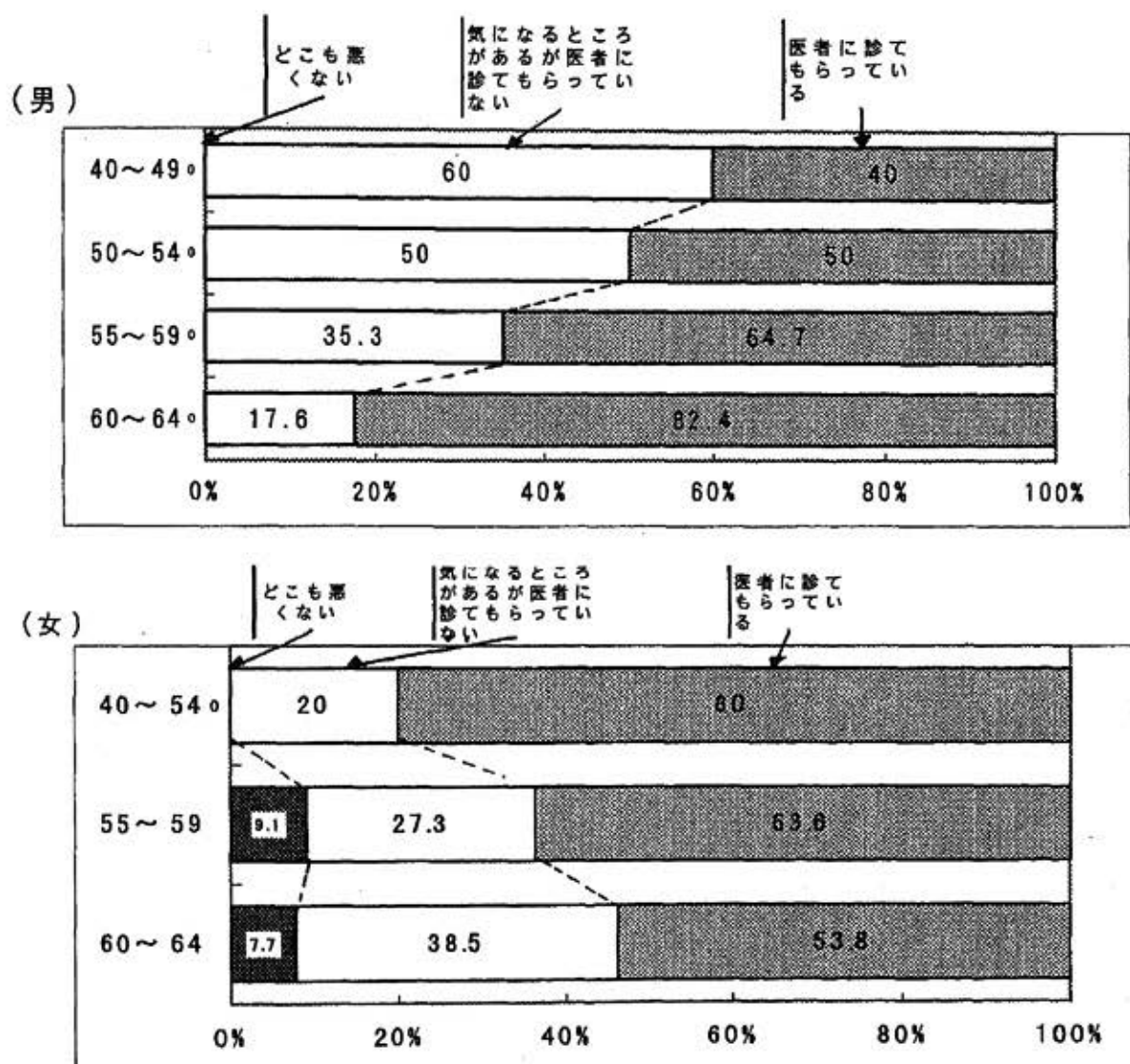
それに対して、55～59才の年齢層になると、男女とも、全般にわたって平均値を大きく上まわっているのである。なお、女性の場合は、実数が少ないこともあるが、40～54

[illegible]

しびれる」「疲れやすい」「胸や心臓が痛むことがある」「身体を動かすことが少ない」「めまいがする・立ちくらみをおこす」「あまり歩かない」などの割合は著しく低い、他の症状はいずれも平均値より著しく高い割合を示しているである。

ところが、性別・年齢階層別に現在の健康状態をみると（図Ⅰ－８）、男性の場合は年齢が高くなるにともなって「医者に診てもらっている」割合が著しく高くなっている。

図Ⅰ－８ 性別・年齢階層別にみた生計中心者の健康状態



それに対して、女性の場合は、年齢が高くなるにともなって、「医者にみてもらっている」割合が低下しているのである。40～54才の年齢層では80%を占めていたが、55～59才になると男性とほぼ同じ64%、そして60～64才では54%に減少している。

その理由としては、今回の調査結果からつぎのような事実を指摘することができるであろう。

一つは、男性と女性の年齢階層別にみた就業状況の違いである。男性の55～59才と60～64才、女性の40～54才と60～64才の年齢層で働いている割合はそれぞれ50%と27%であるが、女性の55～59才では36%と男性よりも高率を占めているのであ

表 I - 14 性・年齢別にみた生計中心者の現在の仕事

生計中心者の現在の仕事		総数	家族労働力を主体にした自営業	所の事務職・セールス	規模30人以上の事業所の現場・事務職	規模30人以上の事業所の現場・事務職	現業系の公務員	規模30人以上の事業所に置かれている	商業・サービス関係に置かれている	運輸系	職人	時給・日雇い	パートタイム	内職
性	年齢													
合計		100.0 75	3.4 6	4.0 3	6.7 5	1.3 1	10.7 8	6.7 5	8.0 6	10.7 8	25.3 19	16.0 12	2.7 2	
男性	40～49歳	100.0 18	5.6 1	5.6 1	5.6 1		11.1 2	16.7 3	11.1 2	16.7 3	27.8 5			
	50～54歳	100.0 11	18.2 2	9.1 1		9.1 1	27.3 3		9.1 1	9.1 1	18.2 2			
	55～59歳	100.0 17			17.6 3				11.8 2	23.5 4	41.2 7	5.9 1		
	60～64歳	100.0 9	22.2 2		11.1 1		22.2 2		11.1 1		22.2 2		11.1 1	
女性	40～49歳	100.0 3	33.3 1	33.3 1							33.3 1			
	50～54歳	100.0 2					50.0 1				50.0 1			
	55～59歳	100.0 8						12.5 1				75.0 6	12.5 1	
	60～64歳	100.0 7						14.3 1			14.3 1	71.4 5		

%と27%であるが、女性の55～59才では36%と男性よりも高率を占めているのである(表I-15)。

そして、第二に、働いていない場合の収入源は、男性の場合は年金30%、生活保護41%、預貯金29%に対して、女性の場合はそれぞれ42%、26%、32%という構成になっている。男性は生活保護、女性は年金や預貯金・その他の割合が相対的に高いのである。

第三に、以上二つのことは医療保障の面での違いにもなっている。男性の場合は「健康保

表 I - 15 就労の有無・性別にみた医療保険の種類

医療保険の種類		総数	健康保険・共済組合	国民健康保険	医療扶助	公的医療給付	その他	医療保険に入っていない
就労の有無	性別							
合計		100.0 169	26.0 44	49.1 83	20.1 34		6.8 1	4.1 7
働いている	男性	100.0 55	49.1 27	41.8 23				9.1 5
	女性	100.0 20	45.0 9	50.0 10	5.0 1			
働いていない	男性	100.0 66	1.8 1	53.6 30	41.1 23			3.6 2
	女性	100.0 38	14.4 7	52.6 20	26.3 10		2.6 1	

険・共済組合」、女性は「国民健康保険」がそれぞれ半数を占め、ついで働いていない場合には生活保護制度による「医療扶助」が大きな比重を占めているのである（表Ⅰ－16）。

第四に、主な収入源別に「治療や通院などについての不安や困りごと」をたずねた結果（表Ⅰ－17）をみると、年金の場合は「医療費が高い」39.4%、預貯金・他の場合は「医療費が高い」と「医療費の一部免除措置の廃止で困っている」がともに35.7%、「通院の費用がかかる」25%、「健康保険の保険料の支払いが困難である」17.9%などが高率を占めているなど、診療を抑制せざるをえない条件がいろいろある。それに対して、生活保護を受給している場合、不安や困りごとが「ない」というものが41.2%を占めているのである。

それにしても、高齢者対策を65才以上で区分するのは実態に合わない。老人保健法の保健事業のように、40才以上を対象にして、日頃くらしのなかで気になっている疲労やストレスなどの実態を少なくとも5才ごとに区分して具体的かつ科学的にとらえ、それに対応したきめ細かな総合的な施策が必要である。65才以上の対策では手おくれであり、保健・医療はいうまでもなく、最終的な社会福祉施策も実効があがらないことだけは確かである。

6. くらしや医療の面での困りごとや日頃何とかしなければならないと思っていること

仮設住宅入居者の生活問題は、多面的であり、いのちそのものにかかわる切実なものである（図Ⅰ－9）。

図Ⅰ－9から明らかなように、いろいろあるが、主なものは、

1. 住まいのこと
2. 病気や健康のこと
3. これからの見通しが立たないこと
4. 収入が不足、などである。

生計中心者が働いている場合には、一人ぐらしだけでなく、配偶者や子ども、親など一緒に暮らしている家族がいるので「自分の病気や健康のこと」や「就職が困難」「収入が不足」「これからの見通しが立たない」「生きがいや楽しみがない」「相談相手がいない」「近所づき合い」など困っているという割合は相対的に低い。

それに対して、主な収入源が年金の場合は、「これからの見通しが立たない」「収入が不安定」「失業や事業の不振」「老後のこと」「借金・ローンの返済」などの割合は相対的に低く、「住まいのこと」や「収入が不安定」「役に立つ施策やサービスが少ない」「病気や健康のこと」「医療費が高い」「物価が高い」「生きがいや楽しみがない」「近所づき合い」などで困っているという割合が相対的に高いのである。

また、生活保護受給者の場合は、「医療費が高い」「貯金ができない」「老後のこと」「生きがいや楽しみがない」「税金が高い」などの割合は著しく低い。そして、「病気や健康のこと」をはじめ「これからの見通しが立たない」「相談相手がいない」「近所づき合い」「生きがいや楽しみがない」「日常の対話や会話が少ない」「家計の赤字」「入浴のことが不便」「あまり外出しない」などの割合が相対的に高いことが特徴である。

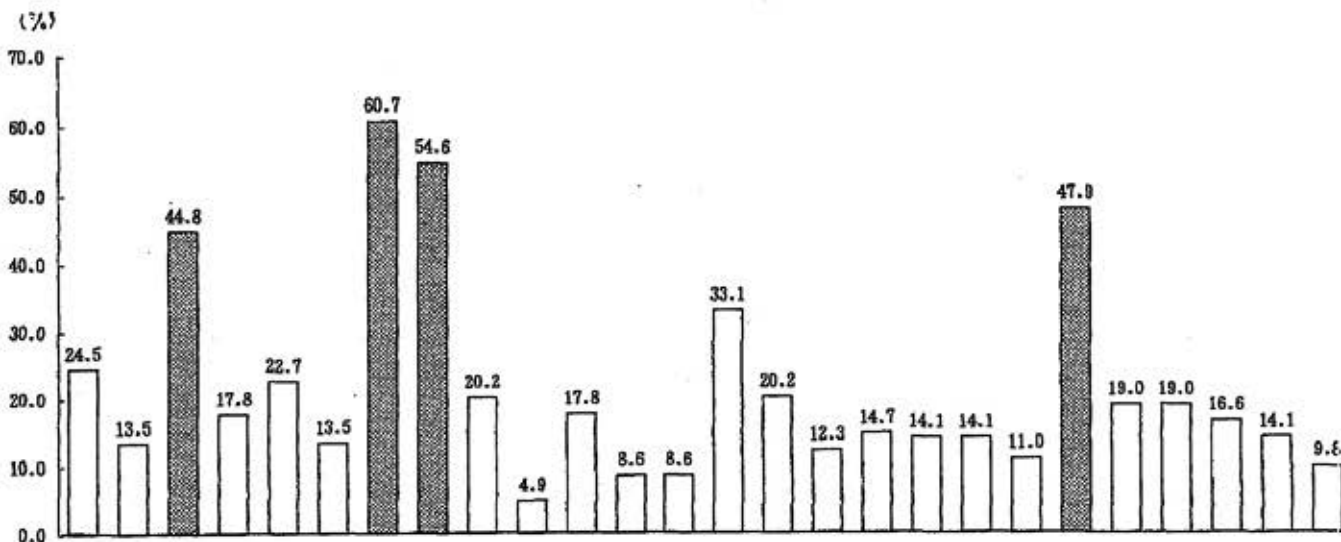
年金と生活保護の受給額は低いが毎月定まった金額なので、それを基盤にしたくらしの内容にかかわるさまざまな要求・関心が現れているのである。

しかし、預貯金を取りくずしたり、仕送りなどを主な収入源として生活している場合には、「住まいのこと」や「物価が高い」「役に立つ施策やサービスが少ない」「生きがいや楽しみがない」「相談相手がいない」「近所づき合い」「くらしや福祉のことで相談できる専門職が少ない・いない」などをあげている割合は低い。むしろ、「これからの見通しが立

表I-17 主な収入源（類型）別にみたくらしや医療の面での切実な困りごとや、日頃、何とかしなければならないと思っていること（複数回答）

くらしや医療の面での困りごと	総数	とくに困っていることや不安はない	ある	自分の病気や健康状態	医療費が高い	入院費がかかる	障害の訓練やリハビリ	退院後の療養	救急や夜間診療体制が不十分	働き手の死亡	失業や事業の不振	労働時間が長い	自由な時間や休日が少ない	仕事の後継者がいない	就職が困難	入浴のことが不便	炊事、洗濯、掃除などの家事の処理	収入が不足	収入が不安定	借金・ローンの返済	住まいのこと	これからの見通しが立たない	生きがいや楽しみがないこと	家計の赤字	税金が高い	物価が高い	預金ができない	相談相手がない	あまり外出しない	地蔵のことがを思い出す	近所つき合い	日常、対話や会話が少なく	老後のこと	くらしや福祉ことで相談できる専門職が少ない、または、いない	窓口が少なく、または、ない	役に立つ商業やサービスが少ない	その他
主な収入源																																					
合計	100.0 169	3.6 6	96.4 163	54.6 89	20.2 33	3.1 5	4.9 8	2.6 4	3.1 5	1.2 2	13.5 22	3.1 5	3.7 6		24.5 40	14.1 23	8.8 16	44.8 73	17.8 29	12.3 20	60.7 99	47.9 78	14.0 27	19.6 32	13.5 22	22.7 37	33.1 54	14.1 23	11.0 18	19.0 31	14.7 24	14.1 23	19.0 31	8.6 14	8.6 14	17.8 29	14.1 23
仕事による収入	100.0 74	4.1 3	95.9 71	47.9 34	18.3 13	2.8 2	1.4 1	2.8 2	4.2 3	2.8 2	15.5 11	7.0 5	7.0 5		15.5 11	12.7 9	11.3 8	38.0 27	28.2 20	15.5 11	59.2 42	43.7 31	12.7 9	19.7 14	22.5 16	23.9 17	39.4 28	9.9 7	7.0 5	21.1 15	8.5 6	11.3 8	23.9 17	9.9 7	12.7 9	14.1 10	12.7 9
年金	100.0 33		100.0 33	63.6 21	30.3 10	3.0 1	6.1 2	3.0 1			4.1 2				24.2 8	15.2 5	6.1 2	60.6 20	6.1 2	6.1 2	72.7 24	42.4 14	21.2 7	13.2 5	12.1 4	27.3 9	33.3 11	9.1 3	15.2 5	21.2 7	21.2 7	9.1 3	15.2 5	9.1 3	3.0 1	36.4 12	12.1 4
生活保護	100.0 34	8.8 3	91.2 31	64.5 20	3.2 1		9.7 3		3.2 1		6.5 2		3.2 1		22.6 7	22.6 7	12.9 4	32.3 10		12.9 4	58.1 18	51.6 16	25.6 8	22.6 7	6.5 2	19.4 6	19.4 6	32.3 10	16.1 5	12.9 4	25.8 8	22.6 7	12.9 4	9.7 3	3.2 1	12.9 4	12.9 4
預貯金その他	100.0 28		100.0 28	50.0 14	32.1 9	7.1 2	7.1 2	3.8 1	3.8 1		25.0 7				50.0 14	7.1 2	7.1 2	57.1 16	25.0 7	10.7 3	53.6 15	60.7 17	40.7 11	17.9 5		17.9 5	32.1 9	10.7 3	10.7 3	17.9 5	17.9 5	17.9 5	3.6 1	10.7 3	18.7 5	21.4 6	

図 I-9 就労の有無・性別にみたくらしや医療の面での困りごと（複数回答）



たない」とか「収入が不足」をはじめ「就職が困難」「医療費が高い」「失業や事業の不振」「収入が不安定」「日常の対話や会話が少くない」など基本的なくらしの基盤や条件をあげている割合が著しく高いのである。

年金・生活保護を主な収入源にしている階層よりも、一層くらしの基盤が不安定であり、さまざまな困難と不安をかかえているものと考えられる。

就業の有無		性別	総数	ある	くらしや医療の面で の困りごと																										
					就職が困難	失業や事業の不振	収入が不足	収入が不安定	物価が高い	税金が高い	住まいのこと	自分の病気や健康状態	医療費が高い	障害の訓練やリハビリ	役に立つ産業やサービスが少ない	窓口が少ない、または、いいない	医療や福祉のことで利用できる施設や窓口が少ない、または、いいない	貯金ができない	家計の赤字	借金・ローンの返済	近所づき合い	相談相手がいらない	日常、対話や会話が少くない	あまり外出しない	これからの見通しが立たない	地廣のことを思ひ出す	老後のこと	生きがいや楽しみがないこと	入浴のことが不便	炊事、洗濯、掃除などの家事の困難	
合計			100.0 169	3.6 4	96.4 163	24.5 40	12.5 22	44.8 73	17.8 29	22.7 37	13.5 22	60.7 99	54.6 89	20.2 33	4.9 8	17.8 28	8.6 14	8.6 14	33.1 54	20.2 33	12.3 20	14.7 24	14.1 23	14.1 23	11.0 18	47.9 79	19.0 31	19.0 31	16.6 27	14.1 23	9.6 16
働いている	男性		100.0 55		100.0 55	16.4 9	14.4 9	36.4 20	30.8 17	27.3 15	23.6 13	61.8 34	49.1 27	18.2 10	1.8 1	14.5 8	10.9 6	7.3 4	43.6 24	18.2 10	18.2 10	7.3 4	3.6 2	9.1 5	7.3 4	46.5 25	20.9 11	18.2 10	10.9 6	12.7 7	1.5 3
	女性		100.0 20	15.0 3	85.0 17	11.8 2	11.8 2	41.2 7	17.6 3	11.8 2	23.6 4	52.8 9	47.1 8	23.5 4		11.8 2	17.6 3	17.6 3	23.5 4	23.5 4	5.9 1	11.8 2	23.4 5	17.6 2	5.9 1	35.3 6	23.5 4	41.2 7	17.6 3	17.6 3	
働いていない	男性		100.0 56	3.6 2	96.4 54	35.2 19	16.1 9	48.1 26	13.8 7	28.3 12	3.7 2	59.3 32	66.7 36	25.9 14	9.3 5	22.2 12	5.6 3	7.4 4	29.6 16	16.7 9	14.8 8	22.2 12	25.9 14	28.4 11	19.0 7	55.6 30	19.6 10	11.1 6	22.2 12	16.7 9	11.9 7
	女性		100.0 28	2.6 1	97.4 27	27.0 10	5.4 2	54.1 20	5.4 2	21.6 2	8.1 1	64.9 24	48.6 15	13.5 5	6.4 2	16.3 1	5.4 2	1.1 3	27.0 10	27.0 10	2.7 1	16.2 6	5.4 2	18.2 4	16.2 6	46.9 17	16.2 6	21.6 8	16.2 6	16.2 4	2.7 1

*表は就業の有無・性別、グラフは合計数によるパーセント。

7. I の典型的な事例

事例①

1.) 働いている夫婦のみの世帯

I さん夫婦は、当たった市営住宅が10万円の収入オーバーで取消しになった。「木造建築の大工職人は、日当2万4000円で月20日働くと48万円になる。年収550万円以下の人はいない。もっと収入の多い知り合いが市営住宅に入っているのをみると、納得できない。収入オーバーはどうにもならないのか、市ははっきりしてほしい。」

一定の収入はあるものの、「震災前に仕事の関係でサラ金から借りた借金がある。そのとき払えなかった国民健康保険料約100万円も分割で払っています。税金や借金返済、国民健康保険料を合わせると、月30万円ほどになります。国民年金は保険料が払えなくて入っていません。家賃の安い市営住宅でないと住めないんです。」

奥さんは「主人が元気だったらいいけど、明日のことがわからない身体。いまでも月に20日働くのがやっと。倒れるとすぐに収入がなくなる不安定な仕事」と心配している。

「避難所は地獄でした。からだの具合がまったく変わりました。肩や身体の痛みが激しくなり肝炎にもなった。すぐにも入院しなければならなかったが、仕事が忙しくてそれできなかった」。いまは脊髄の軟骨が摩滅していて、1日おきに牽引しないと肩や首筋、手足の痛で動き・ツなくなる。「仕事の現場がかわるときは、まず通院できる医者を探しに行く。いつも夕方4時に仕事を終えて、すぐその足で通院している。家に帰ると早く寝るようにしている。それでも夜中の3時頃から痛みで目が覚めて、寝られない日がつづく。肩にはホカロン、足には湿布が欠かせない。」

奥さんも寝たり起きたりの毎日。「左足や腰が悪くて、座ったり長時間歩くことができないので買い物も大変です」。「1DKの部屋で寝ていると、仕事から帰ってきた主人の居場所がない。寝込んでいるときは、いつも店屋物ですましている。こんなことがつづく、気が晴れない。ささいなことでケンカにもなり、二人して落ち込むことがある。」

仮設に2年もいると、「税金でヌクヌクしている。いつまで甘えているのか」という声が聞こえてくる。「隣の市営住宅の子供たちから、”公園を返して”と言われたことは一生忘れられない。ここにいると人間不信になる。何を信じていいのかわからない。人につき合うのがしんどくなる。」

「仮設にしがみついているのではない。陰口をたたかれてまで仮設にいたいわけがない。貯えがあったら、すぐにでも出たい。仕事や通院にも便利で、この30年間暮らしてきたものまちに住みつづけたいという思いで民間住宅をあちこち探したが、条件にあったところはなかった。」

娘夫婦も被害をうけたマンションの修理(770万円)で大変だし、相談しても仕方がない。息子はいるが、音信不通。「いま思うと、友だちは元気なときのつきあいばかり。しんどいときに頼れる友人はいない。」

「この仮設にいつまでおれるのか。その間にどれだけ貯えができるか不安である。収入の少ない人や高齢者だけが優先されて、働いている者には何の対策もない。それぞれの事情に応じて平等に対応してほしい。」

(安井善行記)

事例②

2.) 妻と未婚の子どもと暮らして働いている男性

妻、子ども二人（一人は働いていて、一人は仕事を探している）との四人暮らし。ここは遠くて不便だ。仕事先（震災前と変わらない）まで少なくとも一時間半はかかる。朝、5時半に起きて通っている。「そんな時間だから朝ごはんは食べてない」。通勤手当は全額出るが、その分、給料は上がらなかった。

仮設住宅にきてから身体の調子が悪くなった。「疲れがたまると、あちこち調子が悪い。体がだるいし、肩もこっている。胃腸の調子も悪くなった。風邪を引きやすくなったし、血圧も高い。でも、病院に行く暇がない。いつまでもつか心配」。夜中に目が覚めるし、朝、起きるのがしんどい。イライラすることも多くなった。早く寝るためにビールを飲んでいる。

仮設住宅は二間しかない。とにかく狭い。歩いたらギシギシいうし、隣に気兼ねする。「今は、隣の部屋が空いているが使わせてもらえないだろうか。子どもも隣近所に気を使ってそうっと歩いている」。今は、寒い。でも、ストーブをつけられないので電気代が高くなる。風呂も狭くて使いにくい。日当たりが悪いから洗濯物がかわかない。子どもの一人が喘息で病院に行っているが、前に住んでいたところの病院に行ったら、行くだけでお金がかかるから、そのクリニック（仮設診療所）にいった。薬代が高い。

今後の見通しがたたない。地震の直前、職場の近くに引っ越そうと考え、その費用を貯めていた。そのお金は、身の回りのものをそろえるのに使ってしまった。市営住宅には一度当たったが、収入がオーバーしているからと取り消された。「当たった！って喜んだのに、取り消されて腹が立った。書類に収入も書いたから応募したときに（収入がオーバーしていることを）教えてくれたらいいのに、当たってから言うなんて」。通勤に便利で安いところに住みたい。「せめて敷金を公的に支援してもらえないだろうか。行政は、高齢者だけじゃなくて、中高年・中間所得者のことももうちょっと考えて欲しい」。（湯川順子記）

事例③

3.) 高齢の母親と同居し、自営業の男性(53歳)

東灘区の商店街（以前は棟割り長屋）での自営業。震災で店舗・商品が焼け、避難所を経て、現在の仮設に8月に入居。現在は、元のところで仮店舗の形で営業を再開している。

本人は、震災前から歯が悪く、やせ形で胃腸が弱く、低血圧気味。震災後からは「そういえば、笑うことが少なくなったなあ」としみじみと語る。仮店舗ながら「休みはとれないし、毎日長時間店をあけているのもこたえる」、「この仮設には寝に帰ってくるだけのこと」と、疲れ気味の様子。

母親は、震災後の11月に救急車で運ばれて2ヶ月入院するほど健康を害した。「食べ物や環境が変わったせいやと思う」、「内臓があちこちやられた」。今は、家事は何とかやれるくらいには回復しており、それでご主人が仕事（店）にも出ることができる。

震災直前に国民金融公庫から借りて住むところも店もいったんきれいに改修したのだが、震災でまったく無駄になり、「その借金だけが残った」。とくに高齢の母親には「こたえた」。

営業面では、「商品が燃えたのが痛かった」と悔やみきれない様子。これからは「元の商店街で店舗と住まいを再建したいと考えている」と、営業の本格的な再開への意志は固い。くらしの拠り所を問うても、「店を復興すること」との回答が第一に返ってきた。また、「公営住宅に入れるのなら、住まいと店を別にして考えることもでき、これからどうするかは選択肢は広がる」との考えも持っている。

しかし、とくに店舗再建の資金を銀行から借りたいが、「実際に貸してくれるかどうかかわからない」ので、具体的な見通しがはっきり持てないままである。

以前から自治会活動には力を入れ、親の代からの住まい＝店で近隣同士のつき合いは深く、現在、本人も自治会の役員として活動している。

震災直後には、「商売人（商店街の自営業の人）が徹底的に動いていたのが印象的だった。皆が自力で水や米を持ち寄ったり、八百屋の人は市場へ野菜を取りに行ってくれたりして、近所同士で助け合った。サラリーマンの人は座って（見ている）いる人が多かったように思う」「避難所では、ゆかいでしたよ」。

他方、ボランティアについては、「何人かは来た。花を持ってきて（励まして）くれたり、マッサージをしてくれる（プロの）人もきてくれて、それとしてはありがたかったが、常駐の人は入れなかった（ほとんどなかった）」。

今の仮設では、あいさつ程度でほとんどつき合っていない。「自分は一日中店に出るし、余計にそうなる」。親しくしている人や相談相手といえ、今でも「やはり元の商店街の人。10軒くらいのことだが、そこで店をしているし、今でも何でも話をしたり助け合っている」。また、「陶芸の趣味をもっているので、近所で誘い合ってハイキングへ行くなど、自治会だけではない付き合いの広さも持っている。」

つき合いが深いので、逆に「交際費がかさむ」という問題がけっこう深刻である。商店街で古くからつき合っている人は多いし、避難所で知り合った人もある。「震災で入院したり亡くなった人が出れば、見舞いやお悔やみを持っていかねばならない。いま、自分も金に困っているの、これが痛かった」。

避難所で知り合った人たちとの付き合いも続いてはいるが、「かえってわずらわしい。もうつき合わなくてもええやんか、と思っている」。

（林 博幸記）

事例④

4.) 障害のある弟と同居し、働いている男性（64歳）

間もなく満65歳になるDさんは、3か月単位の契約社員として7年間継続して採用されていた大手食品会社から、4月以降の契約はないと通告された。「65歳以上でも継続雇用されている人もいる。」この会社に最初は雑役夫として入ったが、給料が安いので、リフトの運転手になった。「まだバリバリやれるのに、4月から年金生活や。年金は10万円もないのに、弟と二人、生活もできん」。

長男として生まれたDさんは、早くに両親を亡くし、自分が働くことで弟二人と妹を育てあげた。二男の弟は知的障害があり、「ずっと面倒をみている」。震災で全壊した元の住まいは、親の代（戦前）から住んでいた借家であった。

妹は、結婚してからも近くに所帯をもった。自分は結婚しなかったが、きょうだい同士の結びつきは強く、妹夫婦に支えられて弟との生活を続けてこれた。避難所暮らしのときも、弟は大勢の人のなかでは眠れないので、「妹の生活もあるけど、マンションが何とかもったから、夜だけそこに行って眠らせた。今はちょっと遠くなったけど、妹がちよくちよくのぞいてくれる」。

現在の仮設住宅よりも元の住所に近い仮設もあったが、「弟のことがあって大規模な団地や共同トイレや共同風呂のところ、交通量の激しいところは具合が悪い」。「今まで鍵をかけるような生活をしてなかったから、弟に鍵のことを覚えさせるのが大変だった」。「ここは隙間風が入って冬は寒いし、夏は虫が多いけど、せいたくは言われん。弟のこと考えたら、交通量は少ないし、南向きで土もあるから、仮設のなかではましな方や」、「せめて、もう一部屋あったらなあ」。

健康状態については、「リフトに乗る仕事をするようになってから痔になってしまっ、これが大変や」、「手術せんと治らんけど、その間、弟は妹のところで面倒みてもらわんといかんのぞなあ」。毎日の排便後の処置には本当に困っている。「ほかはとくに悪いところはないけど、仮設住宅に来てからよく風邪をひくようになった」。飲酒の量はかなりのもので休日には1升、平日の仕事のあとでも3～4合は飲む。「今は仕事をしてるから身体ももっていると思うけど、年金生活になったらガタツとくるやろうな」。

現在の勤めの前についていた仕事は、ニットやメリヤス織機の操作であった。阪神間の工賃の高いところをもとめて、社会保険も適用していないような小規模で零細な事業所を転々としていた。「戦後の糸偏景気のころは工賃も高くて、それで弟や妹を育てられたんや」。しかし、そのため国民年金に加入していた期間が長く、この4月から受給する年金も、障害基礎年金を併せても、弟と二人の生活を維持するのは困難である。

仕事のことについては、求人広告と地図とを突き合わせながら、「面倒をみなければならぬ弟がいるから、通える範囲が限られている。給料は安いやろうけど、シルバー人材センターくらいしかないかなあ」と語る。

今後の見通しについては、「お先、真っ暗や」、「仮設に来たのも一番最後や。弟が療育手帳をもっているのに、なんでや?」、「前年度収入でみられたら、来年になっても市営には入れんかも知れん。4月から職もないというのに・・・」「もし市営に当たっても、弟はエレベーターに乗れんから上の階やったら本当に困る」。（山下憲昭記）

事例⑤

5.) 働いている一人ぐらしの男性（47歳）

昭和44年から仮設のある市内の自動車整備工場で働いているが、収入が少ないので貯金もできず、震災前はよく追い出されたりした。

「地震で揺れたのはそんなにショックじゃないなあ。あつ、でも地震のすぐあとは食欲がなくなったんや。」「ここ（仮設）は前住んでたところに比べればましと思うこともあるけど・・・底冷えするから腰痛（持病なんやけどね）が悪くなったなあ。あと、歯も悪くなってるし耳鳴りもひどくなってるわ。首筋や肩もこることが多くなって疲れやすくなっちゃった。」

医者には会社のすぐ近くの整形外科に週一日通っている。96年の暮れにバイクで後ろから衝突（当て逃げ）されて、その後遺症で首が痛くなっている。震災前から腎臓結石ができやすいため5回も入院している。「ここんとこ、結石の心配はないけど、首や腰があかんわ。」

「何に対しても根気がなくなって、今は仕事をしていても細かい仕事はすぐにイライラしてしまうし、力のいる仕事では体力の限界も感じてしまう。」酒は震災前寝しなに少し飲んでたのが、今では一日に焼酎二合半、毎晩ほろ酔いになるまで飲んで寝るようになった。「バイクに乗って仕事に行くから少しにしてるつもりなんやけど、ほろ酔いにならないと寝ない。だから、二日酔いで仕事に行くことも多くなった。」「たばこも一日二箱くらいだったのに、もっとすってる。」

公営住宅もずっと応募しているけど落ちている。「高いところはよういかん。とにかく、家賃の安い公営住宅にはいたい。前住んでたところの家賃（3.8万）が上限だけど、それでも高かったからしんどかった。」「衣食住の住が、今（いつもだったけど）、一番不安定だから安く借りられる所がほしい。」

家計についても全般にわたって切りつめている。特に食費と水道代は切りつめている。食事は一日二食しか取らないこともある。「外食やインスタント食品がほとんど。朝だけ自炊。自炊といっても、ご飯を炊いて、茶づけとのりとか、じゃこに醤油をかけて食べるだけとかやけど。」近所づき合いはあいさつをする程度で、ほとんど交流ない。「でも、この自治会長さんとは震災前からの知り合いで、今もよく声かけてもらってる。暇なときはバイクに乗って走りに行くからふれあいセンターに行くことはほとんどないけど、よう声かけてくれる。」「相談する相手かあ・・・しいていえば、仕事場の人だけど、交際費がかさむし交際しないようにしているからなあ。」
(井上莊子記)

事例⑥

R.)働いている一人ぐらしの男性(50歳)

震災以降、「とくに足腰がぐっと弱くなってきて、歩くのも難儀。しっかりした底の靴に変えてだいましに はなったが、こんなことで仕事をやっていけるのかどうか。いまはまだいいが、あと10年先が心配になっている」。「トイレの入口に段差があって、とくに出る(トリス)ときに腰に響く」「胃も悪く、出血や血便が出ることもある。職場の健診でもひっかかる」「20代からの慢性的なもので、症状には慣れているが、やはり心配。ストレスじゃないかとも思っている」「現在のところ通院はしていない」。

食生活は不規則で、バランスも崩れている。

震災以前は、宝塚市の民間アパートに住み、そこで排水処理装置の設計図を書く仕事をしてた(自営)。震災によりアパートが半壊してそこで仕事ができなくなった。危険なまま、そこにしばらく住み続けたが、家主が建て替えるとのことで移らざるを得なくなった。「避難所ぐらしは経験していない、他のアパートも探したがどこも倒壊・建替え中で、しかたなく7月に仮設へ転居してきた」。

現在の仕事は、市の水道局の非常勤嘱託。職務は浄水場の装置の運転・管理なので、「以前の仕事との関連はあるが、現業仕事なので足腰にこたえる」。

「身分と収入の不安定なことがもっとも大きな悩みになっている。」「40歳からの人には、新聞広告にも求人がない」、「職安には数え切れないほど行っただが、お年寄り向けのような清掃や警備の仕事ばかりだ。」「民間の紹介所へも行っただが、役に立たなかった。」「とにかく、40代・50代に見合った常勤の就職のための情報が欲しい」「実際には、何でもできるというわけではないが・・・」、「職安には定期的に顔を出して、(自分の年齢で、労働力として社会からどう評価されているかという)社会的な能力を判断しておかないといけない」

以前は仕事の関係で(忙しく)、近所づきあいはほとんどなかった。今は、「ふれあいセンター」で知り合った人同士で話し合うようになった。仮設には、いま30数世帯しか残っておらず、「センターに来る人は常連の人で、それなりに仕事も持っている人。だから夜の6時半くらいから集まってくることが多い」。そこでは「『わしら何の援助もないなあ』と同じ世代の人間同士話し合うことがある。」「40から65歳の世代の人はどこにも保障されていないので、何とかしてもらわないと困る」。

「でも、本当に困っている人は、たぶん、ふれあいセンターにも来られない人じゃないか」

県の公営住宅(3LDK/基本家賃6.3万)に今年9月から入居予定。「将来、世帯を持ち、家族が増えることも考えるとこれくらいは必要だと思った」。でも、「通勤時間は長くなるし、家賃がやはり高いので不安だ」と、不安を隠せない。また、「市の援護資金(170万円)を返済しなければならないのがこれからの一番の心配」、「今の非常勤のままで、生活設計を立てようと思ってもどうにもならない」(林博幸記)

事例⑦

7.) 働いている一人ぐらしの男性（56歳）

昭和41年に九州から神戸に出て来てずっとひとり。震災後の平成7年には九州の母親が亡くなった。「たずねてくれる身寄りはいません。」

仕事はずっと日雇い。新開地の高架下において仕事をもらっていた。住んでいたのは簡易宿泊所のだるま荘、家賃は月3万くらい。「今まで不安でした。飯もくわなかったこともあったし、仕事が無くなったら部屋代も払えなかった。ここ（仮設）におるときは、シルバーの仕事をさせてもらおうかなとおもっています。今日も港の公園の掃除に行ったりしました。」公園の掃除は週一日で五千六百二十円。他にも、八家川の草刈りや歩道の掃除をしている。「昼間は仕事で、夕方部屋が寒くてなかなか寝付けなから、もう7時半には布団に入ってます。」

「耳と鼻、皮膚が前から悪いです。右側の耳は地震の前から聞こえません。地震があつてからは左も悪くなりました。これからは、左の耳がいつ聞こえなくなるか不安です。歯も悪くなりました・・・寝つきもようないです。」

知り合いの人に、「あんたの場合は耳と鼻やっただから生活保護の対象にならないから、早く職をみつけなさい。」といわれた。専門職員の人にも「早く仕事を見つけないさい!!」といわれた。だから、職安で仕事も探した。紹介してもらって面接まで行ったが、「面接行くところが遠かった。それで面接も昔の軍隊と一緒に。自分ではどうにもならない耳のことで厳しいこと言われた。どこいっても厳しい人、近寄りがたい人ばかりです。」

「友人も高砂の方へ行ってしまった。米田の友人のところにもたまに行くけどほとんど留守です。」近所付き合いはあいさつ程度。けれど、自治会長さんやふれセンの役員の人達には少し相談相手になってもらっている。そのほかには宗教団体の人など。

「平成7年の7月から8年の9月の間だけ生活保護をもらってたんです。生活保護が切れてから（医療保険）何も入ってないです。一度入ろうと思ったけど払わなあかんもん（保険料）が高くて払えなかったです。前も（震災前）おんなじようなことありました・・・生活保護のときはよかったなあ、これからは医者代が高こうつくので心配・・・友達からの借金の返済にも困ります。」

だから、家計は全般にわたって切りつめている。食事は自分でつくって食べている。魚を煮付けたり肉ジャガを作ったりすることもあるけど、ひやごはんにかつおをかけたり湯をかけたりして食べている。

「仮設おってもええけど、公営住宅に入りたいです。でも、神戸にはかえりたくない。加古川や高砂のあたりでもうのんびりしたいです。」

（井上荘子記）

事例⑧

8.)働いている一人暮らしの男性（57歳）

仕事は、震災前と変わらず左官屋（業）で、25年前、母親を頼って神戸に移って来た。「西宮の竹中さん（竹中工務店？）のところで、働いたこともある。」しかし、左官屋の仕事はほとんど無く、土方の仕事もしていた。今では、西宮からたまに電話がかかり仕事に行く。1カ月10日ほど働けたらいいところだ。1日8千円。

震災時には病院に3回行ったが、重症患者がいるので違う病院にまわされて、それ以来行っていない。痔も治らなくて、座薬を入れることがある。「今は痛い、痛いと言いながらも仕事は何とかしている。」

震災前は、東灘区の文化住宅で母親と暮らしていた。10年ほど前に母親が82歳で亡くなった。「葬式の時、役所の世話になった。」避難所では、「掃除をしたり、手伝いをしたから、自治会長さんや校長先生が世話してくれて、ここの仮設住宅に入れた。」避難所暮らしは、「今、考えると嬉しかった。みんな優しくかったし、ボランティアの子もかわいかった。」仮設住宅は、トイレ（洋式）が共同なので、便座に座るのが気持ち悪い。西日が暑い。

今後の見通しは、自分でもどうしてよいのか分からない。「考えないようにしている。」住宅は、「1万円くらいの安いところならどこでもいい。」「一生ここにいてもいいよ、あと（いのちは）長くないもの。」

母親が生きていたころはとなり近所との付き合いもあった。しかし、亡くなってからは「男だし、朝あいさつするくらい。」仕事仲間「若い衆」が沢山いて、酒を飲みに行ったりした。ここの仮設住宅は、自治会がない。酒飲み友達がいるが、その他は「あいさつする程度」「相談できる人はいない。」身内は、「伊丹にいとこがいるが、一度も来てくれたことはない」「身内も他人と一緒にや。」

震災前から腰が悪かった。今では、「もっと悪くなって寝たり起きたりの生活」「夜はなかなか眠れない。昼の方がよく眠れる。」たばこの本数は、「20本から30本に増えた。」酒は毎日、調子のよい時は4～5合飲んでいる。同じ仮設住宅の若い衆（人）が、4時ごろ迎えに来て一緒に飲みに行く。食事は、「何もおいしいと思うものはない。子どもの頃は何でもおいしかったのに……。今は、カップラーメンかな？」

「お金がないので医者にも行っていない。米を買う金もない。」医療保険には入っていない。「わし一人やから」「もう死んでもいい、死んだ方が役所も楽やろう」「首つったら助けられてしまった。」

（増淵 千保美 記）

事例⑨

9.) 働いている一人ぐらしの男性 (59歳)

59歳のYさんは、震災前から一人で暮らしていたアパートで被災した。震災前に妻がサラ金で作ったという千数百万円もの借金の返済のため昼夜にわたって働いている日々であった。「家内がつくったと言っても、家としての借金やから俺が返す」と、離婚し、家族と別居した。

昼間は親方を入れても3人という零細な鉄工所で働き、夕刻には近所の飯屋であわだしく食事を済ませ、もう一つの鉄工所に行っている。毎日、12～3時間は働き、日曜日もほとんど働きに出ている。昼間の賃金は全額返済にあて、夜のアルバイト収入で生活している。「あと500万だから、1年半くらいで返せるやろう。あと2年、仮設におれたら、いくらかの蓄えもできるけどなあ」。借金の返済後はまた家族そろって暮らすことを楽しみに働いている。

避難所から現在の仮設に来るまで、勤め先に近いところを希望していたため5回目の抽選でようやく決まった。避難所では「いろいろと困ったけど、目の前で人の生き死にを見ていてわがままは言えない。かえって他人同士が力を合せて、いい面もあった」「働きことが生きがいや」。しかし、「これだけ働いているのだから、疲れるのは当たり前や」、「腰が痛い。足が重かったり、手足もしびれる」。「10年程前、重いものをもったり重労働のとき、眼がくらんで胸が痛かったので心臓の検査をうけた」という。今も「力仕事をするところたえる」。煙草の量も多く、「医者から、煙草をやめないと両足切り落とすことになると言われた」と言いながら、咳き込んでいた。歯も悪く、「下3本残してあとは入れ歯である。」

健康保険はアルバイト先で加入することができたが、「医者に行くのは、歯医者と風邪をひいたときくらい」。「検査に行くのが怖い。病院かかったらキリがない。行ったら帰してくれんやろ」。腰が痛いから、年に2～3回鍼治療に行くが保険はきかない。イライラしやすい、落ち込むことが多い、笑うことが少ない・・・「こんなこと言うてられる状態やない。気にもしていない。われわれの年代になったら100%健康というのはおかしい」。「夜、酒を飲むから眠れる」。

同席していた自治会長によると、「このYさんは無理して働いて、何ともない、何ともないと言っている」と。熱心に活動する自治会長に支えられ、将来家族と同居したいとの願いが、日々のYさんの暮らしを支えている。

行政へは、「県の保健婦がきたけど、安否確認程度」、「他には、僕等は昼間、仕事に行っているから、紙で連絡先を教えるくらい。それでは役人の値打ちないなあ。本当はその人たちが行政の上の方にきちっと現実を伝えてほしい」。「この歳になると家を民間で借りるのは難しいなあ。住むところが安定しないと人間は落ちつけないな」。

(山下憲昭記)

事例⑩

10.)働いている一人ぐらしの女性(58歳)

震災前は、この仮設住宅から徒歩30分以内の同じ市内の民間アパートに住んでいた。震災後、1週間は半壊した元のアパートに住んでいたが、雨が降って雨漏りがひどくなり兄の家に3月上旬までいた。しかし、「兄の家族にも気を使うので、少し暖かくなった頃に元のアパートに戻ったわ。」それから、1カ月後に仮設住宅が当たりここで暮らすことになった。

仮設住宅は、「つくりは貧弱やから、雨が降るとトタン屋根にあたる雨粒の音がうるさい。」「洗濯物は外に干すと汚れるので、いつもコインランドリーの乾燥機を使っている。」「風呂も狭くて使いにくいので、わざわざ銭湯に通ってる。」

仕事は震災前から変わらず、神戸市兵庫区にある化粧品会社の工場に通ってパートタイマーをしている。仮設住宅からは1時間20分かかる。会社に務めて11年目になる。「何年か前に作業中に人差し指を半分落としたり、急に小さな破片が飛んで目の下にケガをした。」また、「おとしから右手がケンショウエンになり、社会保険で25,515円の装具を購入した。」「本当は3年もたせないといけなく、よく使うので1年でダメになったわ。仕方ないから実費で1万円の簡単な装具を購入した。」「これがないと、手がきかなくて仕事にならないから――」

月給は10万円以下。通勤手当(1万7千円)を引くと8万円ちよつとになるので、生活費は「全般的に切りつめている。」それでも、整形外科と内科にかかっているため「医療費がかかる。」「4月から、また上がるから困るわ。」健康保険の保険料支払いも高い。

今年の4月に公営住宅へ移るが、「家賃が倍になるので払えないかもしれない。」「引っ越しするにも最低7~8万円はかかるし、貯金もないからどうやって払うか考えているところ。」「市から無利子でお金を借りるにしても返せないし――。」

あと2年で定年になる。厚生年金を3回くらい解約しているので年数が足りず、退職したら月2~3万円しか入って来なくなる。

震災後は、身体のいたるところが悪くなった。去年の5~6月頃には、腰が痛くて起き上がれなかった。「仕事にも行けないし、どうしようもなかった。」「先のことが不安だし隣の音も響くので、夜はぐっすり眠れたことがない。」「いつも睡眠時間は2~3時間。風邪も一年中ひきやすくなったし頭痛もひどい。」「調子が悪くて会社を休んだ時、じっと寝ていると気がめいってしまう。」「やっぱり、会社に行って職場の人と話すのが一番の気晴らし。」また、仮設住宅に来てトイレが和式から様式に変わり、慣れないせいか2年前からずっと便秘。「歯も悪いけど、自分の身の回りのことが落ち着かないとゆっくり治せない。」

朝食は、仕事に行く時だけ喫茶店でモーニングを食べている。夕方、仕事帰りにスーパーに行く。「おそうざいなどは高いので、安くなった野菜を買って調理している。」昼は、会社で安く弁当を取っている。「たまに、夕食の分にもらって帰ることがある。」

「今は、働いている限り何とか暮らしているけど、定年になったらどうなるんやろ？」

今のたのしみは花を育てること。「あの部屋の奥にある花も全部私が育てたんです。」

昼間は仕事に行っているのでも、行政の職員に会ったことがない。「58歳は中間だから、何もしてもらえない。高齢者ばかりです。仮設に住んでいるみんなが被災者やのに――」

事例⑪ 身体障害者を介護しなければならない病気の生活保護受給者（61歳）

昨年ヘルニアと診断された61歳の夫と、同じころ筋ジストロフィで身体障害者手帳を受けた妻の二人暮らし。「ヘルニアだから無理な格好していると首から肩や背中、腰、手足って痛くなるんや。地震があって、避難所のおかげで無理したからなあ、よけいがたがきたんや。」それだけでなく、「こいつの（妻）面倒もそりゃしんどいで。部屋と部屋の間に段差があって危ないし、トイレや風呂には手すりがないし、つけられんから使いにくくてしゃあない。一番困るのは風呂。ここは風呂の高さが高いからもう大変！夜もトイレに連れて行かなあかんから特に最初のころは寝られへんかったわ。それで、起こすときも抱えて起こすんや。そしたら腰にくるやろ？で痛くなるんや。ベットでもあったらなあ。」

震災前は、主にパイプを扱っている仕事をしていたが、仕事場が地震でつぶれてしまい、今は震災前から受給していた生活保護での収入しかない。「（震災前からの）借金もかえさなあかんから仕事したいんやけど・・・、60にもなってどこも使ってくれへんし、体も悪いし働けない。友人の紹介で日雇いの仕事をさせてもらったこともあったけど、ごくたまでほとんど収入にはならへんかった。」

医者には一カ月に1回通っていて、二人とも同じ病院で同じ日にしてもらっている。「だって、通院に時間がかかるし、こいつがこんなだから別々の日だと行くだけで大変やから。病院に行くときは車椅子に乗せて行くんやけど、それを押してるとこっちの体が痛くなってしまうんや。だから医者に行くときだけ痛み止めの座薬をいれるようにしてるんやけど、そうすると今度は胃腸の調子が悪くなってきて・・・。結局は、普段は薬をつかわんようになるべく我慢している。」

身障者のタクシー割引券を持っているが、ほとんど利用していない。この割引券のことを知ったのも担当のケースワーカーなどの専門職員からではなく、たまたま別の用事で市役所に行った時に知らされた。後日、電話でそのことをケースワーカーにたずねると「そういうサービスもある。」と、いうことであつた。ケースワーカーが訪ねてきても、「戸もあけへんと声もかけんといってしまう。」そして、しきりに神戸市の仮設に移ることを進める。そうこうするうちに、生活保護が自動振り込みになり、特に顔を見せなくなった。

「ふれあいセンターの人もボランティアコーディネーターの人も声かけてくれるのはいいけど、声をかけるだけですぐにいってしまう。」「仮設でのつき合いもほとんどないから、相談できる相手が身近におれへんし、いつも家ん中にいて体動かしてない。」

「（ヘルニアのほかにも）血圧も上がってるし、耳も聞こえにくくなってきてるわなあ。今はまあ二人でああだこうだいいながらやけど、食べることもバランス考えて毎日つくって励まし合ってやってるからええけど、自分がこいつの面倒を見れなくなったらとおもうと先が不安で・・・だから考えないようにしてるわ。」

住宅についても「公営住宅に何度も申し込んでいるのに当たらへんのや。前、西区の仮設に当たったけど、仮設から仮設では不安定のままだからいかへんかったんや。住宅も、家賃が安くて、昔住んでた（兵庫区）震災前からつきあいのあった近所の人や友達と近くで暮らしたいけど考えたって仕方がないから、もう出たとこ勝負やおもうてる。」

（井上莊子記）